※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年を通して美術の中の「絵画」「デザイン」「彫刻」という３つのジャンルに当たる作品を作り、映像作品などの「鑑賞」を行います。
・ジャンルのそれぞれに異なった表現方法があり、扱う素材や必要な技法も変わってきます。表現の特性や形態、色彩などを自分なりに感じ取り、工夫し、独自の発想や表現を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・美術の創造活動における表現の多様性を理解している（知識）。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表している（技能）。	感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現を試みている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	手を描く	【絵画】 ・手のクロッキー スケッチブックに鉛筆で手のクロッキーを行う。	a:クロッキーの目的と鉛筆の特性を理解している（知識）。 対象を観察し、端的に表現する方法を身につけている（技能）。 b:線や濃淡がもたらす効果を感受しながら、対象を観察し感じ得た要素を表現するよう工夫している。 c:素早く対象を描く技術に関心を持ち、創造活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 振り返りシート	授業観察

※令和４年度以降入学生用

	ポスターで伝える-四季のデザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・レタリング レタリング表を見ながら鉛筆でレタリングを行う。 ・四季のデザイン的表現 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 選択した四季それぞれのイメージにあうように明度、彩度、構成などを工夫し表現する。	a:形や色彩の働きによって、見る人がどのようなイメージを持つのか理解している（知識）。 アクリル絵の具の適切な扱い方を身につけている（技能）。 b:構成条件や選んだ季節から、形や色彩の働きを考えて表現の構想を練っている。 c:自らが選択した四季が伝わるように、形や色彩の働きを利用した構成を考え、粘り強く取り組もうとしている。	作品	アイデアスケッチ 振り返りシート	授業観察
	映像作品の鑑賞	【鑑賞】 ・映像作品の鑑賞	a:映像作品における様々な制作方法と作品テーマの関わりについて理解している（知識）。 b:作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	感想文	感想文	授業観察

2	暮らしの中の「使う」デザイン	【彫刻】【デザイン】 ・キーホルダーとマグネットの制作 軽量粘土で成形し、乾燥後アクリル絵の具で着色する。 ニスを塗り、金具をつけて完成。	a:軽量粘土やアクリル絵の具の特性を理解している（知識）。 創意工夫を生かした表現をするために必要な塑造の技術を身につけている（技能）。 b:デザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、形や色彩など造形要素の働きを考えて表現の構成を練っている。 c:主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品 アイデアスケッチ 振り返りシート	授業観察

※令和４年度以降入学生用

		【彫刻】【デザイン】 ・手鏡を作る 木製の手鏡制作キットを彫刻刀を使って彫る。 彫り終わったらアクリル絵の具で着色する。	a:木材やアクリル絵の具の特性を理解している（知識）。 創意工夫を生かした表現をするために必要な彫刻の技術を身につけている（技能）。 b:彫り進めていく上で適当な手順を考え、材料の特性を生かした表現の構想を練っている。 c:主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品 アイデアスケッチ 振り返りシート	授業観察
	美術に携わる仕事を学ぶ	【鑑賞】 ・映像の鑑賞 美術に携わる仕事をしている方のインタビューや作品などを鑑賞する。	a:美術に関係する仕事にはどのようなものがあるのか理解している（知識）。 b:現在の日本社会に美術分野がどのように関わっているのか、自身の今後の進路と重ねながら美術関連の仕事に対する考えを深めている。 c:主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	感想文	感想文	授業観察

3	想像を形に	【絵画】【デザイン】 ・コラージュ作品を作る 「自分の世界」をテーマにコラージュ作品を制作する。	a: コラージュの技法独自の表現を理解している（知識）。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、テーマを表現する方法を身につけている（技能）。 b: コラージュという表現の特性を理解し、雑誌の切り抜きなどの形態や色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c: テーマから連想したイメージを表現しようと、粘り強く取り組もうとしている。	作品	作品 アイデアスケッチ 振り返りシート	授業観察

※令和４年度以降入学生用

	日本画を学ぶ	【鑑賞】 ・日本画を学ぶ 日本画材に触れ、古くから日本で親しまれてきた日本絵画や日本画とはどのようなものなのか、実際に作品を鑑賞しながら学ぶ。	a: 日本画の歴史や美術界での位置づけ、画材の特性について理解している（知識）。 b: 日本画に関する知識を得たうえで、他の画材で描かれた作品と比較しながら日本画の独自性を味わい鑑賞している。 c: 主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	感想文	感想文	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度